

# 校長室だより

令和2年度 第9号

2020年12月25日発行

江津市立江東中学校

## 2学期の終わりに

校長 大野 淑子

本日で2学期が終わります。8月26日の始業式からの授業日は84日になります。今学期は1学期に比べ、生徒たちの生き生きと活動する姿が格段に多くなりました。コロナ禍の中ですが、色々な面から感染防止対策を施し、体育祭、文化祭をはじめ、職場体験、その他校外学習や部活動大会参加等行うことができました。生徒たちが意欲的に元気いっぱい取り組んでいく場をもつことの大切さを改めて感じています。

さて、12月は生徒会活動がめじろ押しです。まずは9日(水)に生徒会選挙。次期生徒会の会長に2年生から3名が立候補しました。



選挙公約は少しずつ違っていますが、3人に共通していたのが、「全校生徒がつながっていく活動に力を入れて取り組んでいきたい」、ということでした。昨年の生徒会から始まった全校レクリエーションは、「もっと仲良く、もっとわかり合い、もっとつながり合って」ということがねらいでした。そして自分たちで企画運営していく中でも生まれるつながり、協力、リーダーシップ、企画力、運営力…。なかなかうまくいかないこともあったり、特に今年の生徒会はコロナ禍の中で思うように実施できなかつたり…。けれども、生徒たちの心には、楽しさや充実感とともに、“つながり合っていくための全校レク”が根づき始めていることを感じました。素晴らしいことです。

そして、現生徒会の最後の大事な仕事、生徒総会が、23日(水)にありました。



### 【12/23 生徒総会:委員会活動への代表質問】

「会計を見れば、その団体の考え方や活動の様子がわかる」とよく言われますが、総会で報告された中間決算では半分の項目で執行なし(支出0円)。コロナ禍の中、今年の活動のしにくさがありありと見えます。その中で、できる活動を考え、できる形をつくり、意欲と工夫をもって生徒会活動に取り組んできたと感じています。近いところでは、会場を3か所に分け、開閉会式は放送で行った百人一首大会(文化委員会)、手洗い・消毒・換気等感染予防策を徹底した球技大会(保健体育委員会)等々、委員会全学年生徒で運営、全校生徒で楽しむことができました。来年度へ具体的な改善案も複数提示されています。新生徒会に引き継がれ、さらに元気な“自治活動”となりそうな、そんな期待を抱いた総会でした。

☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆



“私の一票” ⇒ 市選管からお借りした投票箱へ

(文化委員会主催)

## 校内百人一首大会



〔3階会場。(12/17)〕

## 校内球技大会

(保体委員会主催)

ドッチボール(2球使用)  
〔ジャンプボールから。12/16〕



3年家庭科:保育実習(12/18)

“さくらこども園”で。



### 部活動 大会参加の様子

〈吹奏楽部〉

- アンサンブルコンテスト  
(12/12 大田市民会館)  
・管打八重奏「森の勇者たち」 銅賞

〈バレーボール部〉(江東・江津合同チーム)

- 金城カップ 3位  
(12/5 ふれあいジム金城)
- 県中学生バレーボール選抜優勝大会 出場  
(12/12 斐川西中学校)

〈ソフトテニス部〉

- 石央中学校ソフトテニスインドア大会  
(12/12 江津市民体育館) 参加



12/23の生徒総会を区切りに、現3年生を中心とした生徒会役員の任期が終わりを迎えました。一人一人のあいさつには、感謝、充実感、次期生徒会への希望などが詰まっていました。